

## 実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
佐世保市	瀬道地区	令和4年7月1日	令和 年 月 日

## 1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	16.5	ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	13.9	ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	2.0	ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	2.0	ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計		ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計 (備考)	1	ha

- 注1:③の「70才以上」には、地域の実情に応じて、5～10年後の農地利用を議論する上で適切な年齢を記載します。  
 注2:④の面積は、下記の「(参考)中心経営体」の「今後の農地の引受けの意向」欄の「経営面積」の合計から「現状」欄の「経営面積」の合計を差し引いた面積を記載します。  
 注3:アンケート等により、農地中間管理機構の活用や基盤整備の実施、作物生産や鳥獣被害防止対策、災害対策等に関する意向を把握した場合には、備考欄に地区の現状に関するデータとして記載してください。  
 注4:プランには、話合いに活用した地図を添付してください。

## 2 対象地区の課題

- ・担い手(後継者)不足、高齢化による一部農家への管理委託等による負担増
- ・遊休農地の増加
- ・農地の排水不良等による低い作業性
- ・遊休地対策としての園芸品目等導入
- ・将来の地域農地の担い手確保
- ・狭小地の活用に向け基盤整備事業等に取り組みたいが、担い手不足等で事業活用ができない

注:「課題」欄には、「現状」を基に話合いを通じて提示された課題を記載してください。

## 3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

- ・高齢化等により営農継続不能となった農家の圃場の受け皿として、地域の認定農業者と家族経営協定の各世帯員を中心に、将来の地域農業を担う農業者としての育成を進める
- ・将来の地域農業の担い手となり得る入作を希望する認定農業者や認定新規就農者の受入れを促進していく

注1:中心経営体への農地の集約化に関する将来方針は、対象地区を原則として集落ごとに細分化して作成することを想定していますが、その「集落」の範囲は、地域の実情に応じて柔軟に設定してください。

注2:「中心経営体」には、認定農業者、認定新規就農者、経営所得安定対策の対象となる法人化や農地の利用集積を行うことが確実と市町村が判断する集落営農及び市町村の基本構想に示す目標とする所得水準を達成している経営体等が位置付けられます。